

スーパービジョン特論

[講義] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○奥田かおり [k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp]
佐々木敏明 (非) [toshiaki-s@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高度専門職としてのソーシャルワーカー・看護師を養成するためには、各フィールドの教育の高度化に加えて、実際の現場において教育・訓練や後継者を育成する臨床指導者としてのスーパーバイザーが不可欠となる。

本科目では、スーパービジョンの理論と具体的展開方法を理解するとともに、自らの教育体験や現場体験をもとに、スーパーバイザーとしての課題を意識化し、実際の現場においてスーパービジョンが展開できる実践力を習得する。

【学修目標】

1. スーパービジョンの意義ならびに機能と役割について説明ができる。
2. スーパービジョンの関係の特質や展開方法について理解を深める。
3. スーパーバイザーとしての基礎的実践力を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション スーパービジョンに関する基礎的理解 (欧米)	学習の進め方と文献購読分担などを決める。 諸外国の文献検討によってスーパービジョンの歴史背景・諸機能・諸過程等に関して、基礎的な理解を図る。	佐々木 奥田
2	スーパービジョンに関する基礎的理解 (日本)	日本の文献検討によってスーパービジョンの歴史的背景・諸機能・諸過程等に関し、基礎的な理解を図る。	佐々木 奥田
3	スーパービジョンの機能と役割	4×4×4もでの概要についての理解を深める。 教育的機能・支持的機能・管理的機能・について学習する。	佐々木 奥田
4	スーパービジョン関係と過程	スーパービジョン関係と過程(契約・緒段階・コミュニケーション・パラレル・プロセスなど)について学習する。	佐々木 奥田
5	個人スーパービジョンの方法	スーパービジョンの過程(セッション)と使用される技能や方法について学習する。	佐々木 奥田
6	個人スーパービジョンの事例	特別講師のスーパービジョンの経験から、スーパービジョンの意義について理解を深める。	佐々木 奥田 橋本達志(特別講師)
7	グループスーパービジョンの方法	・グループスーパービジョンの特徴と過程(ステージ)について学習する。	佐々木 奥田
8	グループスーパービジョンの事例	・事例を通して理解を深める。	佐々木 奥田
9	スーパービジョンの倫理	スーパーバイザーとスーパーバイジーのパウンダリーと責任、倫理的ジレンマについて学習する。	佐々木 奥田
10	スーパービジョン実践の多様性	(演習)様々な現場におけるスーパービジョンの実践事例を通して理解を深める。	佐々木 奥田
11	スーパービジョン実践の多様性	(演習)様々な現場におけるスーパービジョンの実践事例を通して理解を深める。	佐々木 奥田
12	スーパービジョン実践の多様性(精神保健領域ソーシャルワークのスーパービジョン)	特別講師の実践(組織へのスーパービジョンシステムの導入)の経験から、システム導入における計画、実践、評価についての方法を知る。	佐々木 奥田 村田 育洋(特別講師)
13	インタープロフェSSIONナル・ワーク(IPW)とスーパービジョン	異なる専門職に属するスーパーバイザーとスーパーバイジーによって実施されるスーパービジョンの特性と課題を学習する。	佐々木 奥田
14	世界のソーシャルワークスーパービジョンの動向	スーパービジョンの対話的な取り組みについて学習する。	佐々木 奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	まとめ	自らの教育体験や現場体験をもとに、スーパーバイザーとしての課題を意識化する。 各自のスーパーバイザーとしての課題にそって考察する。	佐々木 奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ディスカッションの評価（50％）最終提出レポート（50％）の方法で総合的に評価する。

【教科書】

授業内で紹介する。

【参考書】

その都度、紹介する。

【学修の準備】

毎回の授業終了時に、以降の参考となる資料や文献を追加し配布する場合もあり、読んで理解を深めておくことが望まれる。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。